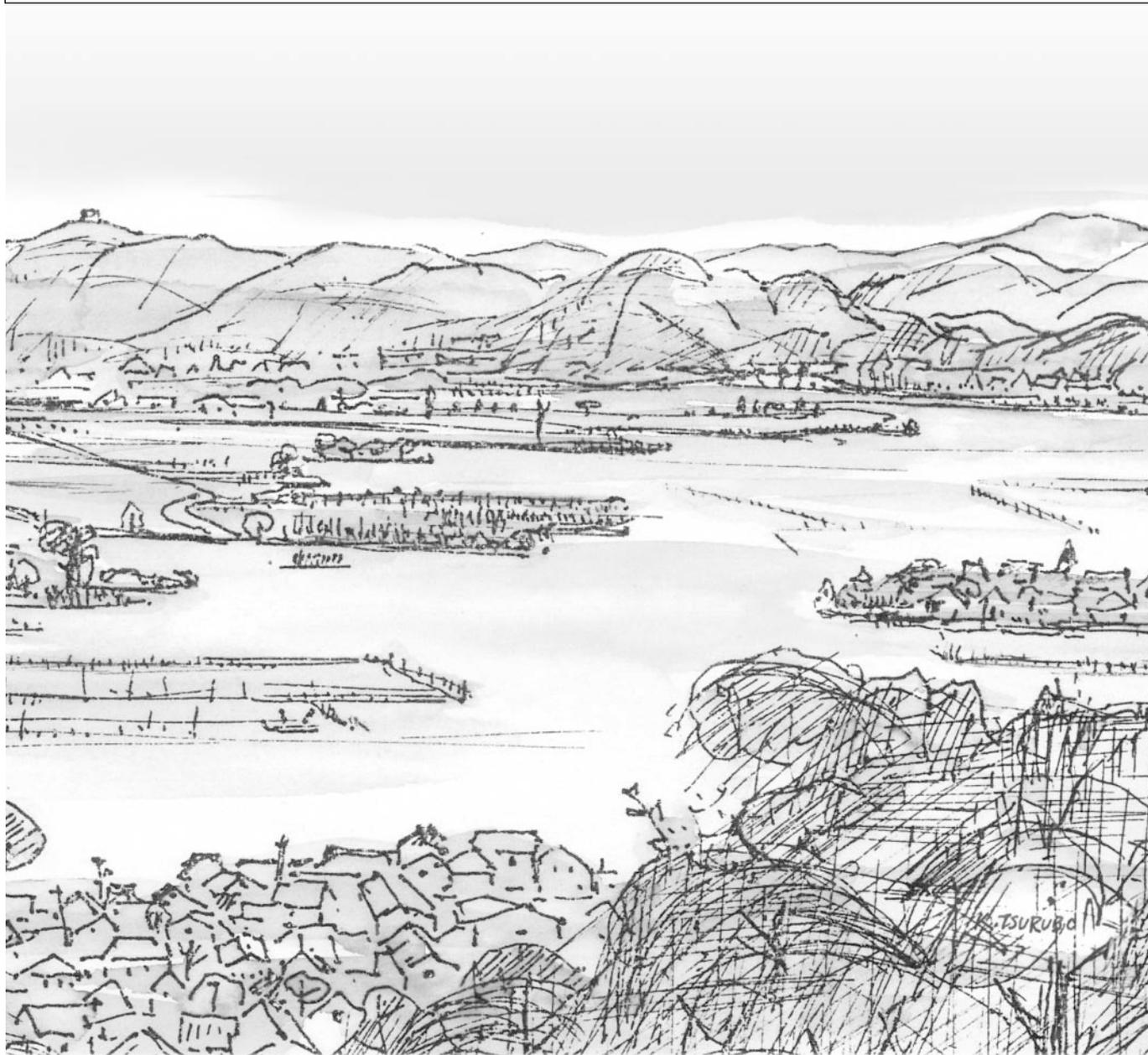


# あすなろ



安土山より西の湖を望む

## 女性会ホームページをリニューアルしました

- メンバー紹介 ●おじゃまします
- 活動レポート ●スケジュール 等を掲載しております

<http://8woman.net>

発行所 近江八幡商工会議所女性会  
住所 近江八幡市桜宮町231-2  
TEL 0748-33-4141/FAX 0748-32-0765  
ホームページ <http://8woman.net>  
E-mail [info@8woman.net](mailto:info@8woman.net)  
発行責任者 会長 随井 佳子  
編集責任者 広報委員長 太田 悦子

# 凜として！

## 近江八幡商工会議所女性会

### 会長 随井 佳子

秋の装いもとのい、えも言われぬ雅の美しい世界へと誘われ移ろう季節に心を動かされます。自然界に反して、国内外共に喧騒とし、いまだ混沌とした、経済、社会情勢の中、女性の力香しく、商いの交わりを広げ乍ら、足元をみつめ、地域に関わり、日々邁進しているところでございます。

平成二年十二月発足以来、和を以って仲よく明るく、明日への活力の源となることを目的とし活動が進められて参りました。自分達の資質向上の為、全国商工会議所女性会連合会総会、近畿商工会議所女性会連合会総会、滋賀県商工会議所女性会連合会総会をはじめ、各地で開催されます行事に積極的に参加し見聞を広めて参りました。各地域の女性会との情報交換、交流を通じて、私共地元PRは勿論忘れず、会員一同が一生懸命働きかけました。平成十七年の第十七回近畿商工会議所女性会連合会総会を当地で開催させて頂くこ

とが出来、史上最多のお仲間が集って下さいました。私達は感謝をし、又ハネとして、本年は、一層地域に根ざした活動を目指とし、地域福祉の増進と環境保全を軸に、郷土愛を充実し、地産地消、輝く水と緑のまち近江八幡に目をむけ、心の癒しを潤いに、活力あるまちづくりを担えばと心一つにしているところでございます。働く女性として、今何をすればよいのか、何をすべきかを考え、希望や意見を出し合って、貴重な少しの時間を活かし有意義で充実した時間をもちたく計画し、実行し、参加し、行動しているところです。インターネットにも、女性会のホームページを開設し、きめ細かな女性ならではの感性を活かし全国に発信して、活力の渦が湧き起れば幸いです期待の大きいことを念じます。自分達の仕事に働く喜びをエネルギーとして、自己の变革、向上を目指し、イベント等を通して、参加し相乗効果で盛り上げる働きも必要

の一つではないでしょうか。

「雲去青山露」 禅語の雲が去って青山が露あらいわになっても又雲が来て青山を隠してしまうのが世の常であると云うことを目に、耳にする時、どの世界においても、一刻一刻を努力して積み重ねることの必要を痛感致します。アインシュタイン博士の言葉で「日本人が本来持っている個人に必要な謙虚さ、質素さ、日本人の純粹で静かな心、それらのすべてを純粹に保って忘れないでほしい」と述べられています。そして加えて進取の気風を持ち、情熱、勇気を持って行動し、

社業発展に努め、地域社会に貢献すること、これこそ

女性会の活動

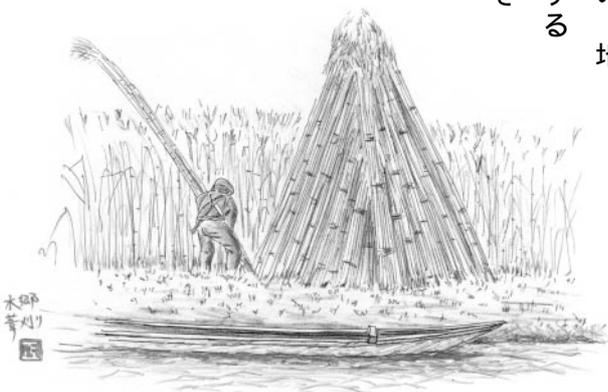
指針の一つ「凜

とは！でありましよう。近

江八幡商工会議所女性会が

心豊かな女性会であり続け

ますように！



## 近江八幡商工会議所女性会 会報「あすなる」に寄せて

滋賀県商工会議所女性会連合会会長  
大津商工会議所女性会会長

遠藤 糸子

行く秋の名残りがつのる今日此頃、随井会長様をはじめ近江八幡商工会議所女性会の皆様には益々ご健勝の由、心からお喜び申し上げます。

近江八幡商工会議所女性会におかれましては、昨年、近畿商工会議所女性会連合会総会を、総勢九名を超える参加者のもと盛大に開催され、今まで以上に、会員同士の絆を深められたことと存じます。また、近畿一円からお越しの参加者の皆様には、近江八幡の持つ自然の豊かさと古い歴史、文化を存分に感じていただけた素晴らしい大会であったと存じております。滋賀県の誇る自然環境を随所に織込みながら紹介され、見事に大会を成功されたことに改めて敬意と感謝を申し上げます。

近江八幡市は、昨年十一月に西の湖や八

幡堀などの水郷地帯が文部科学省から全国で初めて「重要文化的景観」に選定されたとお聞きいたしております。市民をあげて水郷風景と調和のとれた魅力ある美しい風景づくりに取り組んでこられた努力の賜物と存じます。

この素晴らしい水郷風景、豊臣秀次公が開いた近江商人の町並み、そしてヴォーリズ建築の数々など、情緒ある里山や棚田といった景観が姿を消していく昨今、誇りある歴史と文化を残す近江八幡の良さを後世に伝えていこうとされる姿には大変羨ましく頭の下がる思いを致しております。

さて、今年度より会長を務めさせていただいております滋賀県商工会議所女性会連合会は、本年度で七年目を迎え、昨年、長浜商工会議所女性会が加入され、県内全ての

会議所に女性会が揃いました。足並みが出揃った所で改めて身を引き締め、未来の希望に光り輝いていた頃の初心を忘れず、常に足元を見つめつつ少しづつ前進したいものがあります。

私たち女性会は、女性の視点で商工業の振興、地域社会への貢献のため女性会のネットワークを一層強化し連帯感を高めていくことが大切であると考えております。当連合会並びに県内商工会議所女性会の発展のために、微力ながら粉骨砕身努力して参りたいと考えておりますので、何卒ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、近江八幡商工会議所女性会様のご繁栄と、会員皆様のご健勝を祈念申し上げます。私のおつたない寄稿とさせていただきます。

# 秋の空

村井 光子

今年の厳しい暑い夏も終わり、目には紅葉、夜には虫たちの大演奏会、また、収穫の秋と、心癒される季節になりました。会員の皆様方にはお変わり無くお過ごしのことと存じます。

私事で申し訳ございませんが、先日結婚式で新夫婦と共に雑壇に座らせて戴く機会に恵まれ、親戚、上司、お友達からの祝福を受けておられるお二人の幸せそうな様子、又親御さんとの心遣いに、ただただ感動し涙する事多々……。この様にして、子供達は親元から巣立って行く、最高の日「結婚式」に臨席させて戴き、本当に私共も幸せな気持ちにさせて頂きました。

この様な幸せな事とは反して、昨今の世の中の動きは日本だけでは無く世界中で明日が見えない事ばかりですが、老いも若きもそれを乗り越える清心を身に付けていきたいものであります。

『朝には紅顔ありて、また、挨拶とは心の垣根を押し開ける扉なり』



# きずな

小林 英代

ことのほか残暑の厳しかった今年の夏もようやく終わり、稲穂や果実のいろづきを眺めつつ、あちこちから聞こえてくる虫の音に耳を傾けると、秋のおとずれが実感できる今日この頃となりました。

女性会の皆様も元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

「あすなるの原稿を出さないといけない」と思いながら、毎日仕事に追われ締切日が来てしまい急いで筆をとりました。その前に、今までたくさんの方々があすなるに寄せられた思いを久しぶりになつかしく読みかえさせて頂きました。その中に前村井会長のお礼の言葉も掲載されていました。

「あれから9年も経ったのだなあ」と。

本当に力不足の私が、今日まで役員をやらせて頂いたのは会員の皆様方の温かい励ましのお言葉やお力添えのお蔭によるものと感謝いたしております。

「いろんな人に出会えて、いろんな思いをいっぱい味わい、大きなまあるい人間になれたら良いなあ。」といつも自分に言い聞かせてきました。人生の中で一番の喜びといえば人と人とのめぐり合いをいっぱい頂くことだと思ひ、その機会を与えて頂いたことを感謝せずには

いられません。

昨今の世の中は、目を覆いたくなるような世相となっております。子供の虐待、拳句の果てに殺人、このようなことが決して日常化してはならないと思ひます。よりよい社会になるように、女性経営者の集まりである商工会議所女性会も地域のニーズに対応した活動を今後更に展開していく必要があります。

女性会の皆様と連携協力を深めながら、手と手をとって絆を強くしていきたいと念願しております。私も微力ながら精一杯頑張りますので今後もと何卒よろしくお願い申し上げます。

## 義母を送りて

井上 和子

縁あって大家族の長男に嫁ぎ来て四十三年、明治、大正生まれの舅、姑に使え、白いものを黒いと言われても、「そうですね」とこたえてきたものです。

二〇〇〇年二月、姑が病気で倒れて以来六年余、自分が還暦を過ぎた年齢なのに、これが私に与えられた宿命と一生懸命の介護でした。幸いにも介護保険制度がその四月から発足、利用を勧められデイサービスには大変お世話に成りました、デイサービスの日は家業が気に成り少しの時間も惜しんで働いたものです。介護の事で夫婦喧嘩も、また、小姑た

ちとのモヤモヤ、心身ともにフラフラに成りながら嫁としての務めは果たしてきました。その様なときに家業の硝子瓶を作る作業現場で息子が大変な怪我をして、もう、パニック状態でした。緊急枠で姑をショートステイにお願ひしても、枠が無いとの一点張りで聞き入れてもらえず、福祉課に猛抗議をしたものです、何のための介護保険制度かと今でも疑問に思っています。

書きつくせない様な六年間でしたが、最後はあつけないお迎えでした。入院中は冷たく咽喉越しがよいプリンやゼリーなどをこの上もなく好み、スプーンで口に運んでいるのを二歳になる孫がじつと見つめていたのが思い出されます、トイレの移動時には支えきれず二人してお布団の上に倒れたときに、私が「おばあちゃんにそんなに抱き付かれてもなあ」と言ったら、入れ歯をガクガクいわせながら大笑いしたのも思い出のひとつに成りました。六十七歳になつて嫁を卒業した今、さあこれからは悠々自適、何もしなくても許されるかと思つてみたり、いやいや、何か少しでも社会のためにお役に立つ事があればと思つてみたり。忽ち以前からしている障害者の皆さんが作られているパンやクッキー、さおり織りなどの販売のお手伝いを続けてゆきたいと思つています。

難しいことは分かりませんが、永年、主人

が関わつてきました知的障害者の施設運営が自立支援法の施行で大きく変り、自立など儘ならない重い障害をもつ利用者の方にも応分の負担を強いられ、障害者施設の経営が大変厳しいと聞いています。老人介護は身近な事なので、また、何時自分がお世話に成るかと思ひが高いいのですが、障害を持つ皆さんにまで眼が届かないのが現状です、平穩無事に日々が送れる事に感謝しながら、ささやかながらお手伝いが出来ればと願つています。

お婆ちゃん、九十三年間ご苦労様でした。さようなら。

## もっと知ろう！乳がんのこと

藤居 久栄

県商女性連主催『もっと知ろう！乳がんのこと』テーマの講演を九月六日に聞きに行つて来ました。

乳癌にかかる割合は十七人に一人（アメリカでは七人に一人）とびっくりする数字です。早期発見することが傷跡も少なく、精神的ダメージも少なく良いことばかりです。でも自覚症状が全くないのに検診はなかなか受けることができません。

仕事する上でやはり健康が一番。仕事仲間、家族にも心配と迷惑をかけることになりま

せひ思い切つて検診を受けて下さい。

乳癌も日常生活で予防できるそうです。

動物性脂肪、蛋白質を過剰に摂らない

食べ過ぎない（肥満の方はリスクが高い）

適度な運動（毎朝四十分歩く）

緑黄色野菜、果物、食物繊維と大豆製品を

食べる

多量のアルコールは控える

三十歳過ぎたら年に一回の検診

早期発見 早期診断 早期治療を伝える

ピンクリボン運動の中心になって活動されている

加藤誠先生の講演で大変勉強になりました。

## 人生とは

平田 好子

やる事なす事が、失敗ばかりというのはかなわないが、成功の連続はもっと危ない。追い風が続くなと思う日々こそいつそう自戒を怠らないようにしたいものです。

時に、何の不安もなく心配もなければ、悩みもないという境遇にあこがれ、そうなればどれだけ楽しく幸せであることが。しかし、そのような境遇から力強い生きがいや、人生の充実感が、どれだけ生まれてくるだろうか。苦しくつらいことではあるけれど困難に直面し、悩みつつ自己を励まし力をつくして、切り抜けていく。（ちょっとオーバーかな）一喜一憂の日々こそが、本当の生きがい張りのあ

る人生が味わえるのだと思いたい。悩み迷いがあるからこそ進歩があり、問題が生じるから、より新たな発展の道も開けてくるかもしない。そのような見方に立つと、我が人生もまんざらではないと思えてくる。

## 私の人生歌にて

湖上 恵美

歌うことが好きで歌の世界に入り、プロの厳しさに何度かつまずき、そんな時いつも、この言葉を思い出しました。

人間つまずいた時には、自分を見直すこと。さらなる努力をすること。

自己を深く掘り下げ自分を観ること。

そして、その過程においての試練があるうとも、自分のため、目指す目標のためと思えば良い。努力なき者に成功という言葉は望めぬ。この言葉を胸の中におき、日々のレッスンを積み重ねていくうち、歌に対する思い、歌うということの思いが、少しずつ変わっていききました。上手に歌おう、と思う心が逆に下手にになってしまうことになる。思い出せば、子供の頃に歌ってたあの、清き心、気持、そして一生懸命体の力を振り絞り、大きな声で、素直に、楽しく歌った。もう一度幼少の時代の自分に気持を戻し、歌い始めました。それが、聞いて下さる方々の、心のふるさとであ

り、心のどこかに、何かを感じていただける、それこそ私の歌いたいと願う演歌なのです。この思い、変わることなく、これから、歌い続けてゆきます。「人生歌にて、歌にて人生」

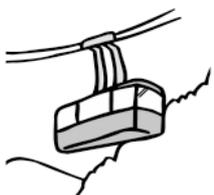
## 夏の思い出

太田 悦子



八月のある日、孫と一緒に「びわ湖パレイ」に行つて来ました。連日の猛暑で「どこへも行きたくない」と思っていたのですが、山の上なら涼しかろうと重い腰を上げ出かけることにしました。ところがよく考えてみると、あのびわ湖パレイの上へ登るには結構長い間ゴンドラに乗らなければならぬのですが、私にとって「ゴンドラ」とは恐怖の乗り物ではないのです。と言つのも高校時代の修学旅行で阿蘇山のゴンドラに乗った時、何かの故障でゴンドラが途中で止まり宙づりになった恐い経験があるのです。あの時以来どこか旅行に行つてもゴンドラに乗る場所であるとなんとなく逃げ腰になってしまいます。(ゴンドラに乗って行く先は必ず景勝の地であることはわかってはいるのですが)この日も覚悟を決めていざ乗ってみると最初の間はいいのですが、だんだん高く登って行くにつれ、お尻

はもぞもぞ心臓ドキドキ、もう目をつむって下をむいてひたすら到着するのを待つばかり。「すごいなあ。おばあちゃん外見てみー。」とはしゃぐ孫の声にちらつと外を見れば、「ひやー」「なんで、こんな所へ来たんやろっ。降りたーい。」という思いでいっぱい。やっとの思いでゴンドラを降りて山の空気を吸った途端、「わあー！風が冷たい！気持ちいい！ゴンドラに乗っていた間のもやもやがいっぺんにすつ飛んでいきました。次の頂上まではリフトです。これはいくら私でもへっっちゃら、爽やかな風に吹かれてルルン気分が頂上まで行きました。そこからの眺めの素晴らしかったこと。「やっぱり来て良かったー。」「下界の暑さを忘れて思う存分おいしい空気を吸って日頃の忙しい毎日を忘れる時を過ごしました。でも帰る時間が近づいてくるとちよつと暗い気分。又々あのゴンドラに乗らなければ帰れないのです。「帰りはちよつと慣れたかなあ」と思ってみるのですがやっぱり外は見られなくて、早く無事に着きますように祈るばかり。帰りの車の中で「楽しかったなあ。又行くうな」という孫に「う、うーん」と生返事をしながら心の中で今度又「行くこつ」と言われたら、「おばあちゃんはお留守番しておくわ」と言おうと思っていました。



## 親を思う

久保田 操

私は姑を九十二歳で送らせて頂きました。

リウマチを患っていた為、病院と老健センターを交互に入院をさせて頂き、手厚い看護をして頂きました。姑は大正初期生まれで、戦争と終戦を経験され、商売を創められた偉大な女の生涯でした。くじける事なく前向きに物事を捉えられ「勿体ない」再利用はないかと生活は質実に眼先に起り得る、色々な問題は愚痴る事なく、何事にも、「肚はらで行く」と云う諺の通り、信念の通った、女乍らの「あっぱれ」の一言でした。ですから迎え来る「死」についても日頃から手厚い信仰の持ち主でした。

私が悩みを打ち明けた時も、素直に受けて下さり、この私に心からの信頼を寄せて下さったのです。

私がお店を始めさせて頂いた時もこの姑達の、徳を十分にいただき、そのお蔭さまでお客様が来て下さった様に思います。

晩年は少し痴呆が始まり最後の息を引き取る迄、皆に感謝をして静かに息を引き取られたのです。これからやってくる老後の生き方として、苦しい事もあつたらうに私達に手本を示して下さいた様に思います。

これからの時代、物の豊富な時代、今何が

不足しているかは、私を含めて心の鍛錬だと思えます。物の見方考え方、人に対する優しい思いやりを今一度姑の死をみつめて考えて行きたいと思えます。

## 人との出会いの大切さを

若林 幸代

近年、近江八幡には沢山の観光客が来られる様になり、私共の店も他府県の方々と接する機会が増えて大変嬉しく思っております。「近江八幡って良い町やねえ、もう何度も来てます」なんて言葉を良く耳にしますと、地元で生まれ育った私などは、嬉しく誇りに思えて来ます。又、その方達に、私達が気付かない地元の良い所や気になる所を色々教えて頂く事もしばしば有り、成る程と人との出会いは、なんと大切な事かと勉強させて頂いています。もつともつと近江八幡に沢山の方が来て頂ける様に、自分の足元からしっかりと気を付けて頑張つて行かなければと、身の引き締まる思いになります。

昔から、ご鼻根の地元のお客様方の太いパイプも大切に、他府県の方には「また来たい」と感じて頂ける店で有りたいと、日々、痛感しています。

これからも、様なお客様のお声を励みに頑張つて行きたいと思っております。

## 心の窓

藤木 恵美子

「貴方はだあれ？」朝モヤの中、不思議な声が出た。私 恵美子 えみこ「そう恵まれた美しい子って書くのよ」と答える私に、何故か聞いた目が笑っている。「うつくしい」美しいって言葉は本当に美しい。素直な気持で差しのべる手その心も美しい。傷付く貴方を労る心、その姿も美しい。汗を流して心の奉仕、いつか夢呼ぶ玉の汗、誠の心は美しい。困難乗り越え与えた感動、流す涙も美しい。慈愛に満ちた眼差し 輝く瞳は尚美しい。感謝の心で笑顔いっぱい「ありがとつ」こんなに素敵で美しい言葉はないでしょう。野に咲く花も咲き乱れ、山鳥のさえずり耳にしてこの世に命に花が咲く、早春の緑、樹木の芽吹き、大地を潤す恵みの雨、まつ赤に燃える太陽、すべて自然は美しい。希望高らかに夢いっぱい心の窓に美しい花を咲かせましょう。赤い花、白い花 煌く星座の美しい夜 素敵な騎士が現れて 月と一緒に歩こうかと そんな夢の中 やがて無動の夜が来て 静かに静かに…



# 拓 び や ま ひ ま す !!

## 株式会社モアエンタープライズ

近江八幡市加茂町3590-6  
TEL:0748-32-7675(事務所)

モアアバンセ  
住所:滋賀県近江八幡市加茂町3590-6  
TEL:0748-32-3422(美容サロン)  
0748-33-7531(エステサロン)  
営業時間:9:00~20:00  
(エステは10:00~20:00)  
定休日:月曜日



小林 英代さん

<http://home.rasysa.com/moa-a/>

カットハウスモアは滋賀・京都に12店舗、エステは5店舗あります。加茂町の本店は明るく広々として、お客さまにゆったりとした気分を感じていただけていると思います。



私が若葉町に第1号店を出してから今年で丸29年。最初は、幼児2人を育てながら、自分一人での営業のため大変苦労しました。ドライヤーをなるべく使わないで手グシにするなど、お客さまの髪をいたわることにこだわり続けると、自然と皆さまに認めていただけるようになりまし。それから徐々にスタッフと店舗を増やしていき現在の規模になったのです。

当店は「経験豊富なスタッフが「お客様にたいです。

似合うスタイルを提案「できる店作り」を目指しております。各店舗のスタッフが月1回ミーティングを行い意見交換するなどスタッフが向上心を持って仕事をしています。

また、モアはお客さまの髪へのいたわりを追求して、15年前に開発された、髪の毛が傷まない特別なパーマ液をずっと使っており。髪の毛のたんぱく質の流出を防ぐ物質により、トリートメントしたようにサラサラの髪になります。是非一度その感触を体験してください。

また、エステも好調で今後は本店のようないきいきとした複合店舗を増やしていきたいです。

## 八幡石油株式会社

住所 近江八幡市中村町727  
TEL:0748-32-2065



脇坂 高子さん

自分の親の代から続くガソリンスタンドですが、まさか自分がこうやって家業を継ぐとは思っていませんでした。三人娘の末っ子でしたが、姉二人が先に家をでてしまい、なんとなく手伝っていました。それが20歳の時に月刊ガソリンスタンドの優秀女性従業員全国1位となりました。そのことがこの商売をやっていく自信へとつながり、今の自分があると思います。その後結婚し、主人と一緒に頑張ってくれました。現在は主人と娘と一緒に家族中心で運営しています。

セルフや価格の安いガソリンスタンドが乱立し、個人店には厳しい時代です。けれどそんな時代だからこそ、大型店にはない個人と個人のお客さまが多く、なかにはゆつくりとおしゃべりして帰る方もいらっしゃいます。そんな



家族でやっているからこそそのアットホームな店づくりを心がけています。お客さんから聞いた話は家族全員に伝え、誰がそのお客様と話してもすぐにわかるようになっています。おかげで家族間の会話も常にあり、温かい家庭づくりにも役立っているんですよ。

毎日朝から晩まで仕事に追われ忙しい日々ですが、気晴らしも兼ねて週一回はバイオリンの練習にでかけています。高校のクラブ活動のOGが30年ぶりに集まり結成した「室内アンサンブルノアノア」での楽しいひと時が仕事

の疲れもリフレッシュさせてくれます。老人ホームや幼稚園での演奏なども楽しいですね。

他には園芸も好きで店にはたくさん花を飾っています。ガーデニング好きなお客様とは情報交換や苗を交換したりして仲良くしています。じつとしていられない性分なのか、常に動いていますね。

お客様が来られて帰られるまでわずか3~5分。そのわずかな時間に少しでもほっと和んでほしい。「笑顔で元気にハツラツ！」を motto に頑張っております。

## 株式会社近江八幡 自動車教習所

住所 近江八幡市鷹飼町  
北一丁目12番地7  
TEL:0748-33-3639

西堀 洋子 さん



<http://www.hsnt.or.jp/omi/hachiman.d.s/>

滋賀県公安委員会指定の自動車教習所です。普通自動車、普通自動二輪車、大型自動二輪車の免許を取得する事が出来ます。この業界は男性が占める割合が多いので、女性の社長というのは珍しく、全国的にも希少の存在です。男性とは味違った女性ならではの暖かな雰囲気にも包まれた教習所と心掛けています。

教習所といえば、先生が免許取得の技術のみを生徒に教習するという教育産業と思われるがちですが、当教習所はそのイメージを払拭すべく、単なる先生と生徒の関係を（お客様としての生徒さん）と言った当所側の意識改革、加えて免許取得の必須教習は当然として教習料金以上の付加価値、例えばトリアードで細やかな送迎システム、教習中における安心ネットとしての補償を始め多くのサービスを提供致しております。

私自身も積極的にお客様と接して直にそのニーズや課題を語り合い、迅速にその対応を図れるように努めております。お客様方の教習も当所のパソコン（タッチパネル）で簡単に予約も可能ですが、対人関係を大切にされるお客様には職員との直接交渉での予約方法も好評を頂いております。又お客様と常時触れ合う指導員・職員は教習技術事務処理だけではなく（教習、対応は笑顔と共に）をモットーに精励してくれている事は言うまでもありません。こうした取組みの環境として当所での免許取得者のアンケートによれば「卒業して行くのが寂しい」「アットホ



ームな教習所だった」といった回答を頂いたり、卒業後度々遊びに来てくださるお客様がたくさんおられる現実。又当所での免許取得者を起因とする事故発生率の少なさは、目指す方向の正しさの証明であると共に誇るべき改革の成果ではないかと考えたり致しております。

これからは、益々少子高齢化が進み介護の為の普通車二種免許が必要となってくる。今後はこちらにも力を入れて行きたいと思っております。

私事ではありますが、自身の心身のリフレッシュを古典稽の栽培や、古寺巡礼（もっばら十面観音様の拝観）、歌舞伎の観劇（とりわけ市川海老蔵の大ファン）、そして極稀のゴルフなどで図り「明日への糧」と致している次第であります。

## 有限会社マルサ

住所 近江八幡市西庄町1236-1  
TEL:0748-32-5271

川島 昌子 さん



おかげさまで有限会社マルサは創業80周年を迎えました。みなさんの細かなニーズに応えられるよう地域密着型でがんばっております。店舗スタッフは女性を中心に運営しており、女性ならではの気配りを重視し、よい店づくりに努力しております。また女性の社会参加を応援しています。

先代が仲屋町に店をかまえたのが、昭和元年。当時よりマルサ進物店として贈答品を扱ってまいりました。戦時中は進物の需要が無い為、金物や陶器を売ったりしていましたが、戦後庶民の生活が落ち着いてからは、進物中心に営業しております。



私が主人の元へ嫁いだ時には、舅は他界しており、姑も高齢でした。だから、私は商売・家庭・子育てを丸投げで引継ぐ結果になりました。サラリーマン家庭に生まれ、商売というものを知らない私にとっては、その頃が一番大変で、手さぐりで進む毎日でした。

店と家が別の場所にあったので子どもの世話もお手伝いさんまかせ。その時は必死でしたが、今から思うともっと手をかけてやればよかったと悔やまれます。しかし、そんな風で育てた息子が「家業を継ぐ！」と言ってくれたときは本当に嬉しかったです。親の背中を見て子は育つ、私の子育ては

間違つてなかったのだと思います。中小企業の後継者問題が深刻化する時代です。息子夫婦には本当に感謝しています。お嫁さんが子育て中の間は、もうしばらくは私がんばらなくてはなりません。息子達世代の若いアイデアに影響をうけ、凝り固まった考えを捨ててもう一度商売に再チャレンジしています。

家に帰ると、二世帯住宅の二階から聞こえる孫たちの賑やかな声。5歳・2歳・1歳とかわいい盛りです。この子達の成長を見守るのが今の私の楽しみです。

これまでは趣味や習い事など自分の時間を持つゆとりもなく、仕事に追われてきました。お嫁さんに世代交代した後は、ゆつくりと旅行をしたり、第二の人生を楽しみたいですね。

# 平成18年女性会ではこんな活動をしてきました。

平成18年2月6日

## 市長と語る会・新年懇談会

カネ吉ティファニーにおいて、毎年恒例の市長と語る会・新年懇談会を開催。21名が出席で新年始めての会スタート。川端市長からは、国の光を観ることが観光であり、様々な人々の暮らし、表情、心を映すもので、訪れてみたい、住んでみたいまち、それが「終の栖」を選ぶときに重要となる。企業も行政も戒めが大切で、市長がはやくから取りいれておられるCSRやコンプライアンスマネージャー制度など、自治体で全国初となる取り組みに繋がっていること、ナンバーワンからオンリーワン時代へ変化するなか、近江八幡市では、ファーストで進められ、市民の力で国選定の重要な文化的景観の第1号に「近江八幡の水郷」が選ばれたことなど、理に叶い情に叶う行政の取り組みに努められていることを話された。女性会活動や日々の事業でも努力の大切さを改めて思う会となった。



市長と商工女性と語る会

4月1日

## 和歌山商工会議所女性会40周年記念式典 正副会長出席

4月27日

## 平成18年度定期総会

当所中ホールにて開催。22名（委任状15名計37名）が

出席。随井会長を議長に議事進行。全ての議案満場一致をもって可決承認された。任期満了に伴い一部理事の異動があったが、体制として大きく変わらず、今まで以上に会員皆さんの相互協力で女性会を盛り上げて行きましよう

と今年度事業への意気込みとなった。



平成18年度定期総会

5月26日

## 県商女性連理事総会

八景館にて正副会長出席。県下7女性会の正副会長による理事総会。全ての議案満場一致をもって可決承認された。総会後のセミナーでは、日頃の疲れを中国気功や中国茶でほころし、体の内側からリフレッシュしていただけるいい機会となった。

6月9日

## 第18回近畿商工会議所女性会連合会 総会京都大会出席

「世界の古都 美感都市・京都へおいでやす」をテーマに近畿2府5県53女性会より、810名が京都に集結。京都ホテルオークラにて開催され、当会より18名が出席した。長谷川近商女性連会長開会挨拶、京都西尾会長挨拶では、近畿のみなさんをこの日お迎えできた嬉しさとお礼、この時期の京都の紹介や女性会として地域社会に根付く活動を行きましようと呼びかけられた。各議事案も満場一致で可決承認され、次回平成19年開催地である、

大阪商工会議所女性会長長谷川

会長をはじめ大阪女性会のみなさんが、今宮えびすで福娘のみなさんがされる「商売繁盛で笹もつこい！」と笹をもって歌いながらアピールをされ開会。引き続き、講演会では、京都商工会議所副会頭でオムロン株式会社代表取締役会長である立石義雄氏による「未来から選ばれる企業」と題して、自社における社会観・人材育成・企業理念等をお話され、有意義な講演会となった。

6月13日

## 市議会傍聴会

遠くへ目を向けていることが多いなか、もっと身近なことに目を向けようということで、市議会傍聴会を開催。個人で傍聴とまで考えないことでも女性会として参加することで、会員同士での会話ができて、今までにない会となった。

7月14日

## 女性会人権学習研修会

ひまわり館2階研修室にて近江八幡市高齢・障がい生活支援センター 副主幹 青木勝治氏に講師をお願いし、平成18年4月から施行された障害者自立支援法について、今までの法施



女性会人権学習研修会



第18回近畿商工会議所女性会連合会 総会京都大会



策から自立支援法で変わったことなどの説明をしていただいた。2時間という限られた時間では足りない研修会であった。今後定期的に勉強会を続けていきたい研修会となった。

7月27日

### 県商女性連資質向上研修

10名が参加。県下7女性会持ち回りで会場を回っているが、今回は守山さんが担当。佐川美術館では、日本画家平山郁夫氏、彫刻家の佐藤忠良氏の作品に触れ、静かなひとときを満喫し、ラフォーレ琵琶湖では、プラネタリウムで星のお兄さんの爆笑ライブで日頃の疲れが吹き飛ばすような研修となった。

7月28日

### 官庁街奉仕作業

毎年恒例になっている官庁街の清掃作業を、建設工業会青年部さんとの合同で官庁街周辺から近江八幡市総合医療センターまでと近江八幡駅北口に続くブーメラン通りのごみ拾いを実施。合同で行うのは、4度目。7名が汗を流した。環境・ごみ問題を通じて地域社会に貢献することを目的に、市民夏まつりである八幡てんびんまつり開催前に13年前から毎年実施している事業。

8月6日  
第21回八幡てんびんまつりに女性会チャリティバザーを開催。  
市役所前駐車場特設会場で、



第21回八幡てんびんまつり



官庁街奉仕作業

福祉事業活動への助にあてるためのチャリティバザーを開催。18名が出席。夜は総おどりにも参加した。

9月6日

### 県商女性連女性の社会進出事業

#### 加藤誠氏講演会

県下7女性会持ち回りで講師・会場担当を輪番制で開催。当所より3名が参加。

「もっと知ろう！乳がんのこと」と題して、加藤乳腺クリニック院長 加藤誠氏による現在の乳がん事情の講演。食生活の欧米化により、日本人女性も年々増加傾向にあることや、早期発見・早期診断・早期治療により恩恵があること、日々の生活の中での心がけなど、ご自身の健康を見直す研修となった。

### 9月26日 御千代保稻荷神社参拝会

商売繁盛の神様で、おちよぼさんの愛称で親しまれている御千代保稻荷神社参拝会を開催。13名が出席。日本三代稻荷のひとつとして全国から年間二百万人の参拝者で賑わっているとのこと。参拝日



御千代保稻荷神社参拝会



岐阜駅前繊維問屋街



県商女性連女性の社会進出事業講演会

は平日だったため、人もまばら。社殿の入口の近くにお供え用のお酒と油揚げを売る店があり、薫に通された三角の油揚げとろうそくがセットになったものを購入し、本殿へお供え、参拝した。その後、岐阜駅前の繊維問屋街を歩いた。

10月15日

### さわやかサンピア祭

#### 後援協力

ウェルサンピア滋賀主催でさわやかサンピア祭を開催され、そのなかのステージSHOWで江州音頭に参加。8名がはつぴと女性会たすきで踊りの輪を盛り上げた。当日は風がきつい日でしたが、体育館での開催とあり、家族連れのお客様で会場は賑わっていた。

10月26日

### 健康セミナー

第2委員会企画で実施、13名が出席。中国気功を体験、リラクスしながら血めぐりを良くし、薬膳料理を堪能し、そのあとは中国茶でほっこりしていただき、体の中から日頃の疲れを癒すいい機会となった。



健康セミナー



健康セミナー



さわやかサンピア祭後援協力

# 近江八幡市へ福祉機器寄贈

## てんびんまつりに女性会チャリティバザーを開催

福祉事業の一環として、収益金の一部を近江八幡市へ。今年は近江八幡市高齢・障がい生活支援センターに設置される、「携帯用補聴器誘導システム」といって補聴器を使われている方が、より一層聞こえる装置。補聴器は遠くの声や音を聞きたくても、近くの音が優先されるため、聞きたいことが

聞き取れない場合があるが、このシステム内なら、遠くからでも話しかけることが可能なシステム。11月2日(木)、随井会長、中江委員長が川端市長を訪問。「市の福祉事業にお役立てください」と目録を渡した。今年で14回目に向かえ、これからも社会に貢献できる活動を続けていく所存です。



# 女性会ホームページをリニューアル

<http://8woman.net>

女性会は平成12年からホームページを立ちあげておりましたが、この度、女性会をもっと知っていただくためにリニューアルを致しました。

創刊号からご覧いただけます。ぜひ一度、女性会ホームページをご覧ください。

メンバー紹介や日々の活動レポートを掲載しており、「おじやまします」のページでは会員みなさんの事業所のことやご自身のことなどを、写真を交えて紹介しております。また、この広報誌「あすなる」は、



## 今後の事業予定



平成18年

11月 あすなる第19号発行  
第38回全国商工会議所女性会連合会  
三重全国大会 21日・22日

平成19年

1月 新年懇談会 ~市長と語る会~

## 編集後記

此の度委員会の再編成に伴い、広報委員も新人ばかりが担当させて頂く事になりました。毎回、大変御苦労頂いておりました前広報委員の皆様にお礼を申し上げ、今後も良き御指導を、あおぎたくお願い致します。尚、女性会会員の皆様には、積極的な御指導と御投稿を頂き、益々「あすなる」が親しみのある会報になります様、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

上阪 廣子